

## 市民意見聴取に係る施策の概要

案件名： (仮称)尼崎市就学前教育ビジョンの策定について  
(副題)

局課名： 教育委員会事務局 就学前教育課

施策の目的	就学前教育施設に共通する教育内容の充実策や官民幼保の連携方法、更には、今後の市立幼稚園に求められる機能・役割の再整理や少子化を見据えた効果・効率的な運営体制等について、その方向性や取組等を示すものです。
現状・背景	本市では、市立の幼稚園と保育所、私立の幼稚園と保育所、私立の認定こども園が、就学前教育施設における教育などの基準である幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、それぞれの創意工夫を生かしながら就学前教育を推進しております。 また、市立幼稚園においては、平成24年8月に策定した「尼崎市立幼稚園教育振興プログラム」に掲げる6つの柱(※)に基づき、教育内容の充実策に取り組んでおります。 ※6つの柱・・・(1)遊びを通した学びを推進し、後伸びする力を育むための複数学級、(2)幼稚園と小学校の滑らかな接続に向けた教員間の連携推進、(3)特設学級の充実、(4)発達に関する専門機能の強化、(5)家庭教育の支援、(6)幼保一体化や預かり保育等、幼児教育制度の研究
課題	本市全体における就学前教育の質を高めていくためには、幼児教育の中で育った資質・能力が小学校へどのように引き継がれているのかの研究や小学校との縦の連携や私立施設などとの横の連携をより一層構築していく必要があります。更に、増加する教育上特別な支援を必要とする幼児への対応の検討等を行う必要があります。 また、市立幼稚園においては、少子化の影響や女性の社会進出に伴う保育需要の増加等により、園児数が大幅に減少し、複数学級の編成が困難な状況となっております。一方では、特別な支援が必要な幼児の入園割合が増加傾向にある中、特別支援教育のあり方についても検討が必要な状況にあります。 更には、尼崎市全体の保育需要は増加の一途にあり、待機児童の解消が、喫緊の課題となっております。
施策の策定にあたっての考え方	令和3年度は、「尼崎市立幼稚園のあり方検討会」を設置し、「尼崎市立幼稚園教育振興プログラム」に掲げる6つの柱の現状分析や今後の市立幼稚園の目指すべき姿等について協議を行いました。施策の策定にあたっては、令和4年2月に当該検討会から提出された報告書(「今後の尼崎市立幼稚園のあり方について」)の内容も踏まえ、進めていきます。
意見を聴取するポイント	「(仮称)尼崎市就学前教育ビジョン」を策定するにあたり、以下の項目を参考に、広く市民の皆様のご意見を募ります。 <b>【尼崎市が目指す就学前教育のビジョン】</b> ○就学前教育の質の向上について ○幼稚園・保育所と小学校の円滑な接続について ○インクルーシブ教育の推進について 等 <b>【上記ビジョンを推進するための市立幼稚園の運営体制等】</b> ○市立認定こども園の設置について ○市立幼稚園のあり方(保育年齢、再配置等)について
市民意向調査(ステップ2)の実施手法	令和4年8月1日(月)から31日(水)まで市ホームページにおいて意見募集を行います。
お問い合わせ先	教育委員会事務局 学校教育部 就学前教育課 尼崎市三反田町1丁目1番1号 尼崎市教育・障害福祉センター3階 TEL: 06-4950-5665 FAX: 06-4950-5658 Eメール: ama-shugakuzen@city.amagasaki.hyogo.jp